

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度 本庄市社会教育委員会会議
開催日時	令和2年11月19日(木) 午前・午後 2時00分から 午前・午後 3時00分まで
開催場所	本庄市役所6階 大会議室
出席者	井上健治委員、芦澤吉一委員、久保田浩史委員、澁谷利幸委員、竹並達也委員、明堂純子委員、大塚進委員、岩崎信裕委員、木村登志男委員、都丸幸子委員、田邊晶子委員、内田英亮委員、矢野間規委員、塩谷和弘委員、田村カヅエ委員、古閑政委員、長沼勝正委員
欠席者	笈口修一委員、矢野間規委員
事務局職員	勝山勉教育長、原道広課長、下垣淳課長補佐
議題 (次第)	別紙の通り
配付資料	別紙の通り
その他特記事項	
主管課	生涯学習課

会議の経過	
発言者	発言内容・決定事項等
原課長	<p>・開 会</p> <p>それでは定刻になりました。本日は令和2年度社会教育委員会 議にご出席いただき、大変ありがとうございます。</p> <p>まず、開会の前に本日の会議についてでございますが、本庄市 社会教育委員の会議規則第3条に定める会議は、委員の半数以上 が出席しなければ開くことができないとされております。本会 議の委員数は計18名で、このうち本日ご出席をいただいております委員さんは、16名でございます。半数以上となりますので、 本会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>続きまして資料の確認をさせていただきます。 最初に令和2年度本庄市社会教育委員会議次第 続きまして右上に資料1とございます令和2年度本庄市社会教 育委員名簿 次に資料2とあります本庄市社会教育事業の現況について 次に資料3とあります本庄市社会教育委員設置条例 資料4本庄市社会教育委員の会議規則 次に冊子となりますが、令和2年度本庄市の教育 また、カラー刷りとなっております市教委だより A4の冊子となっております、本庄市公民館の事業記録 続きまして令和2年度公民館クラブガイド、最後に令和2年度 北部地区社会教育関係委員、職員研修会の資料でございます。</p> <p>恐れ入りますが資料が不足している場合はお申し出ください。 不足等はありませんか。</p> <p>それでは改めまして皆様こんにちは。大変お忙しい中、社会教 育委員会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。 私は本日の司会を務めます、生涯学習課長の原と申しますどうぞ よろしくお願いたします。</p> <p>それではお手元の次第に沿って進めさせていただきたいと思 いますのでご協力をお願いいたします。</p> <p>なお、会議の終了は概ね午後3時を予定しておりますので、よ ろしくお願いたします。</p> <p>それでは、次第2、委嘱状の交付をさせていただきます。 例年ですと、教育長より委嘱状を交付させていただいておりま すが、この度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から大変</p>

原課長	<p>失礼とは思いますが、皆様のテーブルの上に置かせていただいております。</p> <p>委嘱状に記載の氏名に誤りがないかをご確認いただきたいと思っております。</p> <p>なお本日、笈口委員、矢野間委員 2名の方がご都合により、ご欠席の連絡をいただいておりますので、後日、事務局よりお渡しをいたします。</p> <p>それでは続きまして、勝山教育長からご挨拶を申し上げます。</p>
勝山教育長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>本日は、令和2年度の本庄市社会教育委員会議を開催しましたところの皆様にはご多用のところご参集いただきましてありがとうございます。</p> <p>また、日頃よりそれぞれの立場で、本市の社会教育の推進にご尽力いただいておりますことに、重ねて感謝を申し上げます。</p> <p>今、新型コロナウイルスのことが、非常に心配されるところです。今日の会議につきましては、先ほど司会の方からもありましたけど、換気を行い、委嘱状についても、テーブルの上に置かせていただく等の対策をとりながら、開催しているわけでございます。</p> <p>昨日、東京都で493人の感染が報告されました。今日は500人を超えるのではないかと、埼玉県においても126人となり、全国においても2,022人となりました。2,000人を超えるということで、本当に心配されます。</p> <p>昨日、グーグルが、AIを使ってこれからの感染を予測したという、私も見ましたが、その時のグーグルのデータですと、東京都が11月17日に298人までの現状で、AIの予想によると12月3日に550人という予測をしていました。500人を超えるのは12月に入ってからだそうです。これがずいぶん早くなり、このままのペースですと、大変なことになると思います。</p> <p>そのような中で、本市の生涯学習活動につきましても、様々な制限がある中で、2月27日以降は中止、公民館につきましては、休館となりました。緊急事態宣言の解除や本市のイベントに係る方針によりまして6月15日から再開して、7月に入りまして、色々な対策をとりながら、少しずつ事業や講演会等が開催され始めました。</p> <p>また現在、利用者団体のすべてではありませんが、再開されつつあります。</p> <p>今後もコロナ禍の中で、安心して開催できるよう工夫を、皆様</p>

<p>勝山教育長</p>	<p>と一緒に考えながら、できることをやっていくことで、事業を推進してまいりたいと考えます。</p> <p>本日の会議につきましては、社会教育事業の現況についてとなっております。委員の皆様には、ご助言、ご指導を賜る機会となりますことから、どうぞ忌憚のない御意見をいただければ幸いです。</p> <p>最後になりますが、皆様方のご健勝にて今後のご活躍をご祈念申し上げまして、簡単ではございますが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>原課長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして次第の4でございます。</p> <p>本日新たに委嘱された皆様から大変恐縮ではございますが、自己紹介をいただきたいと思ひます。</p>
<p>各委員</p>	<p>旭小学校長の久保田と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>児玉中学校長の澁谷と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>名簿の3番目の井上です。</p> <p>選出団体は、本庄市子ども会育成会連合会から本日出席させていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>本庄市PTA連合会の竹並と言ひます。本庄西小学校のPTA会長をさせていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>本庄市婦人会会長の明堂純子と言ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>本庄市老人クラブ連合会の大塚と言ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>本庄市スポーツ協会の岩崎と言ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>本庄市青少年育成市民会議より選出されておられます木村登志男です。よろしくお願ひします。</p> <p>心豊かな子どもの育つふるさとづくりの会の芦澤と申します。よろしくお願ひします。</p> <p>子育て応援団本庄びすけっこの都丸幸子と申します。よろしくお願ひします。</p>

各委員	<p>NPO法人本庄子育てネットの田邊晶子と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本庄市議会の内田英亮と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本庄市自治会連合会、高柳自治会長の塩谷と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>藤田公民館でお世話になっている田村カズエです。よろしくお願いいたします。</p> <p>以前の関係でこの場に出席することになったと思います。古閑です。</p> <p>何か役に立てるかと思い応募しました。長沼と申します。</p>
原課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは事務局からも自己紹介をさせていただきます。</p> <p>事務局をさせていただいております生涯学習課長の原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
下垣補佐	<p>同じく生涯学習課の下垣です。よろしくお願いいたします。</p>
原課長	<p>なお、教育長はこの後、他に公務がございますので、退席とさせていただきますと存じます。</p> <p>どうぞ、ご理解いただきましてご了承いただければと思います。</p>
	<p>～勝山教育長 退席～</p>
原課長	<p>それでは、次第5の委員長および副委員長の選出に移らせていただきます。</p> <p>お手元がございます、資料4の本庄市社会教育委員の会議規則第2条第1項で、会議の運営上委員の互選により委員長1人および副委員長1人置くとの規定により、委員長、副委員長の方の選出をお願いしたいと存じます。</p> <p>早速ではございますが、皆様より、委員長および副委員長につきまして、推薦または自薦いただきたく思いますがいかがでしょうか。</p>
木村委員	<p>はい。事務局案があればいたします。</p>
原課長	<p>ただ今、事務局からということで、お話がありましたがよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、今回は井上委員に委員長をお願いし、ご選出いただ</p>

原課長	<p>きました。井上委員は、社会教育委員を最も長く勤められておりました。今回も井上委員に委員長をお願いできればと考えております。</p> <p>また、副委員長ですが、前回同様、芦澤委員をお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか。</p>
	(拍手多数)
原課長	<p>ありがとうございます。ご了承いただいたということで早速ですが、委員長、副委員長におかれまして、前方の委員長席、副委員長席へご着席をお願いします。</p>
	(井上委員、芦澤委員が委員長、副委員長の席に移動する)
原課長	<p>それでは、井上委員長、芦澤副委員長よりそれぞれご挨拶をいただきますと思います。</p>
井上委員長	<p>皆さんこんにちは。今日は暖かく、11月の陽気にはないような季節となっております。コロナ禍で委員の皆様方におかれましては、研修会、催し物等の中止の連絡ばかり続いており、このような中で何ができるかお考えだと思います。さて、本日は、委員としてご出席をいただいておりますので何卒よろしく申し上げます。</p>
芦澤副委員長	<p>副委員長ということで、委員長を補佐し、皆様からご協力を得ながら職務をはたしたいと思っております。</p>
原課長	<p>ありがとうございます。それでは、次第6の議事に移ります。</p> <p>議事進行につきましては、本庄市社会教育委員の会議規則第2条第2項の規定によりまして委員長が会議の議長となって進めるということになっておりますので、議事進行につきましては井上委員長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
井上議長	<p>・議事</p> <p>それでは、議事6本庄市社会教育事業の現況につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
下垣補佐	<p>本庄市社会教育事業の現況について説明致します。資料2をご覧ください。</p> <p>1. 生涯学習推進事業に関すること</p> <p>(1) 本庄市生涯学習推進指針について</p> <p>この指針は、生涯学習の輪が広がり、より良い生涯学習社会の実現を目指すために、5つの指針を体系として、市民一人ひとりが自主的、自発的に学び続けることができる環境を整え、市民の主体的な学習活動を支援します。</p>

<p>下垣補佐</p>	<p>(2) 市民総合大学</p> <p>申込者数969人の内、過去2年間（R元、H30）に受講したことがある方が830人、残りの139人が新規もしくは3年ぶりに受講された方と考えます。</p> <p>講座についてですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ジュニアコースの全講座を中止とし、シニアコースとミドルコースもしばらくの期間、講座を中止としました。</p> <p>三密を避け、マスクの着用、手指消毒等を受講者に協力していただくとともに、講師の方と相談しながら安全に行える講座を開催しています。</p> <p>(3) 公民館講座の開催</p> <p>市内11箇所の公民館は、新型コロナウイルス感染症予防の対策を取り、6月15日（月）から開館しています。公民館の主催講座は、8月中旬から徐々に再開しています。</p> <p>(4) 中学校開放講座の開設</p> <p>中学校を生涯学習の会場として開放し、生涯学習の機会を増やすものですが、今年度は開設にあたって各中学校とPTAに事業開設の希望をお伺いしました。市内の市立の中学校4校中、3校で（本庄東、本庄西、本庄南）10月以降に開催していく予定です。</p> <p>次のページをお願いします。</p> <p>(5) 生涯学習推進大会</p> <p>今年度については、令和3年3月13日の土曜日に本庄市民文化会館での開催を予定しています。</p> <p>昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止としました。</p> <p>2. 青少年教育に関すること</p> <p>(1) 本庄市青少年育成市民会議</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、表の「青少年健全育成標語・青少年の主張の募集」で主張10人と標語の応募総数3,094点の中から入賞17点の選定を行いました。</p> <p>また、「青少年健全育成のつどい」では、感染症対策をとりながら規模を縮小等して、午前と午後の内容を分けて開催する予定です。</p>
-------------	---

<p>下垣補佐</p>	<p>次のページをお願いします。</p> <p>・青少年非行防止パトロール          こちらについても、第1回、第2回を中止としました。来年2月の第3回については、状況を確認しながら実施する予定で進めています。</p> <p>(2) 本庄市子ども会育成会連合会          小学校の行事等の様子を伺いながら進めており、表の「夏期リーダー研修会をボウリング大会」にかえて行っています。          また、「冬期リーダー研修会（スキー）」、「はがき作品展」については、今後の状況を伺いながら実施する予定で進めています。</p> <p>(3) 子ども大学ほんじょう          例年、本庄市・美里町・神川町・上里町及び関係機関・団体が「子ども大学ほんじょう実行委員会」を組織し、早稲田大学をはじめとした各協賛企業等の協力を得て開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、子ども大学ほんじょう実行委員会において、今年度は休校となりました。          次のページをお願いします。</p> <p>3. 家庭教育に関すること          (1) 親の学習講座の実施          家庭教育支援事業では、子育てのワンポイントアドバイスやQ&amp;Aを掲載した「親の学習手引」や、誕生から中学生卒業までの成長や思い出を記録できる「親子手帳」を活用した講座を開催しています。主に「家庭教育アドバイザー」の方を中心に設立した「本庄市親の学習推進委員会」により保護者の「親」としての力を高める「親の学習」を実施しています。</p> <p>①親の学習講座の開催          小学校PTA家庭教育学級、中学校開放講座、小学校新入学児童説明会時、認定こども園・保育園及び幼稚園で保護者を対象に親の学習講座を開催しています。以下の表は令和元年度の親の学習講座の実績となります。</p> <p>②については、本庄市「親の学習手引書」と「親子手帳」の説明となります。</p>
-------------	--

<p>下垣補佐</p>	<p>次のページをお願いします。</p> <p>(2) 小学校PTA家庭教育学級の開設 市内の小学校を会場に、子どもの健やかな成長等を推進するため、PTA会員が継続的に学習できる講座を開催しております。 今年度は開設にあたって各小学校とPTAに事業開設の希望をお伺いしました。市内の小学校12校中、5校（仁手、旭、北泉、児玉、金屋）で10月以降に開催していく予定です。</p> <p>4. 成人の祝い（成人式）に関すること 本庄市の成人式は実行委員会形式で行っており、今年度は13名の応募があり、委員長を中心に実行委員会を開いています。 今年度は、令和3年1月10日の開催に向けて進めていますが、安全に開催できるよう午前・午後の「2部制」としました。 入場時の検温、マスク着用、手指消毒の予防対策を行うことや、保護者の入場は控えていただく等のお知らせをしています。（10月1日ホームページ掲載、11月1日広報掲載）</p> <p>5. 総検校(そうけんぎょう)塙保己一先生遺徳顕彰事業について 今年度は、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、顕彰祭（170人）、塙保己一先生没後200回忌記念事業の第1弾（120人）及び、第2弾（80人）を開催しました。</p> <p>6. 小学生学習支援事業「学ぼう舎」について 新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら、9月から小学生学習支援事業、「学ぼう舎」を月2回、土曜日の午前中に公民館等の5カ所で、定員を設けて行っています。「学ぼう舎」では、国語や算数の自主学習、ものづくり、絵本や紙芝居の読み聞かせ、レクリエーションなどを行っています。 また、学習の支援やレクの指導、見守り役である「みんなの師匠」を地域の方から募集して、子どもたちの安心・安全な居場所づくりに協力いただいています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生の参加者数 49名 ※11月1日時点</li> <li>・みんなの師匠 27名の登録 ※11月1日時点</li> </ul> <p>次のページをお願いします。</p> <p>7. 社会教育団体への補助金等交付について 以下の表は今年度の各団体に対して補助金等の予算額となって</p>
-------------	--

下垣補佐	<p>おります。</p> <p>事務局からの説明は以上になります。</p>
井上議長	<p>ただ今、事務局より説明がございましたが、皆さん何かご意見等はございませんか。</p>
内田委員	<p>はい、委員長。</p> <p>1つ目が、市民総合大学公のミドルコースの平均年齢が70歳ということで、この点で働いている現役世代の人たちの参加が少ないことが伺われます。やっぱりこのコロナ禍で、いろいろできないで停滞している状況で、今までやってきたことを一旦置いて、どうやって働く現役世代にも参加してもらえるかということをごちようど考える機会になるのかなと思っています。やっぱり働きながらこういうのに出るのは大変なことですが、魅力的な講座や参加しやすい場所とか時間の配慮があれば学びたい人は多いと思います。どんどんそのような機会をこちらで作ってあげないと。よく言われるのが博物館には子供と高齢者しかいないっていうような状態になっちゃうと、やっぱり社会教育としてよくないので、そういうふうなのがあるといいか思います。あと、せっかく配ってもらった市教委だよりの中にあるミュージアムもできたので、施設を利用した勾玉作りなんかをやると子供たちにとって良いと思うし、大人というか、高齢者はもちろん、各世代のそれぞれに向けた知的好奇心を刺激されるような、参加したいというようなことが、社会教育とタイアップしてもいいかなと思いました。</p> <p>それから、2つ目として成人式ですね。駄目だったときに、実行委員会の彼らがやってくれるのですが、感染拡大で急に延期やリモートだと言っても周知の問題もあるし、あとは成人の人たちは、それではリモートでやりますと言われてもはいそうすかとはならないので、その辺を事務局の方から会議の場で話しておいてほしい。成人の祝いは、その場に集まったり、あの衣装を着たりすることが醍醐味とも言えますから。</p> <p>それから、3つ目ですね。こどもたちにも読みやすい小冊子を作成しているということですが、子供たちでいいのかと思います。意外とまだ塙保己一先生の事をよく知らない人が、特に旧本庄市の大人の方も結構いるので、子供だけのために優しく簡単なものを作ってしまうことで、単純すぎるものになってしまうのもよくないのかなと思います。</p> <p>4つ目、学ぼう舎について、みんなの師匠の選考なのですが、</p>

内田委員	<p>師匠たる人であればいいのですが、そうじゃない人が来たりするときの質の問題はどのようになっているのかと思いました。</p>
下垣補佐	<p>市民総合大学のミドル世代の方に対しては、内田委員が言われるように魅力があって、興味を引くような内容を担当者の方でもいろいろと考えて企画しているところでもあります。</p> <p>今回、出席いただいているびすけっとの方たちにお願ひして、子育て中のお母さんたちにも参加しやすいように託児を設けたりしています。また、お勤めの方ですが、なかなか会社に行った後、参加するのは難しいのかもしれませんが時間帯を遅らせて、夜間の時間帯にして参加し易いようにしております。</p> <p>ミドルコースの平均年齢については、気になるところであり、働き世代の方が参加しやすいように検討しております。</p> <p>成人の祝い実行委員会でも、緊急による事態等についても、話をしてみたいと思います。</p> <p>また、塙保己一先生遺徳顕彰会との調整が必要となりますので、ご意見を担当の方に伝えたいと思います。</p> <p>学ぼう舎については、応募していただいた後に、面接を設けています。面談を行いまして、その方の考えや人柄をうかがいまして、3人の面接官によっていろんな人の目から見てこの人が本当に師匠としてふさわしく、子供の面倒をみられるかどうか判断しています。採用後もコーディネーターに様子等をうかがっています。</p>
古閑委員	<p>関連することです。2、3年前のアンケート調査の結果で、現在働き世代の30代から40代ぐらいの方が何か学びたいという意見が多かったようです。</p> <p>日頃がんばれるような、魅力が感じられるような講座について考えてもらいたい。</p>
田邊委員	<p>皆さんの意見を伺って、私の意見です。</p> <p>塙保己一先生の冊子の件については、大人向けの本はいくらでもあって書店でも売っているし、図書館にもあります。今、私は北泉小で、紙芝居を制作しています。</p> <p>以前、マンガの塙保己一を作って、各学校に全戸配布しました。でもあれちょっと難しかったですね。大人が読むようなマンガだったため、ほとんどが読んでいなかったと思います。</p> <p>児玉の子は良く知っていますけど、私達などの旧本庄の方はほとんど知識がなくて、頑張っって知ろうとして記念館に行きましたけどちょっと難しく、子どもが理解できるようなものではなく、</p>

田邊委員	<p>全て難しい漢字表記なので、郷土の偉人を子どもに伝えるには子ども親しみやすい副読本が必要と校長先生ともお話をしました。</p> <p>私は子供むけの小冊子を作るのは賛成です。小学生にもわかりやすいような文章が良いと思います。</p> <p>それと市民総合大学について、私が思うには、本庄市がなぜ、中年世代がないのは、申し込みが事前申込制で、3月とかに締め切りますよね。それが原因だと思います。私も友達が何々の講座に行くと聞いても、すでに申し込みは終わっている。そうすると、一緒に行くことができないので、もっと申し込みを随時にすれば増えると思います。また、深谷市で行っている深谷えん旅というのがあります。すごい素晴らしく私が参加したのは、ケーキを作って、そのままランチコースを食べるというものでした。色々なコースがホームページに掲載されていて、ネットで申し込みができます。例えば、御かみさんが案内する深谷の遺跡とか、本庄市でもやっているようなものもあって、すごく行きたくなるような講座がいっぱいありました。ちょっと真似してもよいかと思いました。</p> <p>今の時代、紙で申し込む、窓口で申し込むというのは、20代～50代では難しく、だから年配の方が多くなってしまいます。若い人はネット申し込みして、いつでも締切日までは申し込み可能にすれば、いくらでも口コミで広がっていくと思います。私が行ったのも定員オーバーでしたが、ちょっと言ったらみんな行きたいと人数が増えましたが、それでもやっていただけました。そういう現状ですから、若い人たちは口コミが大事だと思いました。申し込み日程をもう一度見直すことができればよいと思います。皆さんも深谷えん旅でみてください。どこも何かを工夫していると思います。</p>
明堂委員	<p>小冊子について小学生の発達段階に応じた内容を作成したらどうですかと、遺徳顕彰会に伝えたことがあります。小冊子を作成するということは、前進だと思います。</p> <p>色々と大人むけの物を目にしますが、地域の子どもむけにもう少しきめ細かくやったほうがよいと思います。講談を赤レンガなどでやっており、少し楽しみながら知識を入れるとか大事なことではないかと思います。</p> <p>市民総合大学では、いい講座をしていると思います。市民のニーズも反映しているので、ただ高齢者が多いというのはまずいのかなと思うので、もう少し考えを柔軟にすることも大事ですかね。</p>

内田委員	<p>世の中にはわかりやすいものなのにわかりにくいマンガもいっぱいあります。受験向けの漫画でも、全部文章で長く書いてあり、わかりづらく、大人が読んでも意味がわからないし、子供も読んだら読めないとどっちつかずの本がたくさんある。今回、子供向けを作るのにあたって、子供がわかるような完成度のものであって、大人でも読めるジブリのようにしっかり作りこむ必要があります。郷土の偉人についてのものだから、子供にちゃんと読めて大人にも読める本ができると良いと思います。</p> <p>社会教育委員の方から、こういう話が出たことを伝えていただけると良いかなと思います。</p>
原課長	<p>埴保己一について、顕彰会の方で子どもたちに読みやすい冊子を作るといって進めています。これは、200周年記念事業の一環ということで進めております。</p> <p>去年は、日本を訪れる外国人の方や高校生向けの英語版パンフレットを作成しています。</p> <p>大人や子供、市外から来る方や外国人の方など幅広く把握していきながら周知していきたいと考えています。</p>
明堂委員	<p>読みやすいようにと聞きましたが、子供って小学生などを考えますよね。1年生から6年生までとすると理解力がかわりますよね。小学生でも低学年なのか高学年なのかきめ細かくやらないと、あてはまったものにならないのではないかな。</p> <p>温故学会でつくられた紙芝居を見たことありますが、これはすごく子供にも共感を得ると感じました。子供というくくりがちょっと、もう少し対象を絞った方がよいと思います。</p>
古閑委員	<p>今ちょっと対象者の話が出たので、こども大学があり、市民総合大学があってその間がちょっと抜けていて、中学生や高校生に対しての働きかけが大事なのです。中学生、高校生を対象にしたものを検討していただけないかなと私は思います。</p>
下垣補佐	<p>市民総合大学のジュニアコースでは、小学生と中学生を対象としております。</p>
原課長	<p>また、ジュニアコースでは、異学年交流講座といって小学1年生から中学3年生を対象に高校生が先生になって教えています。</p> <p>このような取り組みは、非常に大きな成果になると考えています。高校生は自分より年下の子供を見て優しい心を育て、また、素直な心を感じることで、自分を見つめ直したりすると思います。小学生、中学生にとっては、年齢の近い高校生に教えてもらうことで、憧れを抱き、これから高校生や大学生になろうと真面目に考えると思います。</p>

原課長	学習の繋がりということで非常に良いことかと考えます。高校生の方についても、そういった形で参加してもらっているということをご理解いただきたいと思います。
都丸委員	私たちは市民総合大学の講座で託児をさせていただいて、子育て中の方が外でリフレッシュできる機会はなかなかなくて、本当に特定の方ぐらいしかなくて、ぜひ、いろんな方にこの講座とか、息抜きをさせてあげたいと考えますので、もう少しその辺のことを考えてほしいと思います。
井上議長	学校の先生方は、これまでの意見に対して何かございますか。
久保田委員	市民総合大学のジュニアコースで、小学生や中学生が高校生たちと関わりをもてることは非常に良いことだと思います。 それから、保己一の関係ですけれども、3年生で社会や道徳で学びます。さらに、今年、5年生が社会科見学で塙保己一記念館に行きました。非常によくできていて、実際に使ったものや紙芝居的なものもあり、身近なものに感じて、もっと利用すべきと感じました。
澁谷委員	そうですね市民総合大学について、色々と意見が出ましたが、具体的に誰がどうやって変えていくのだろうと思いました。事務局に一任するのか、みんなで意見を出し合うのか、何か道筋みたいなものがあるのでしょうか。
井上議長	この場は、委員のみなさんから意見をいただき、事務局に持ち帰っていただきます。
古閑委員	私もやっぱりなにか、言わなきゃいけないという、そういうものに動かされて出てきています。本当に必要と思うことやっていただきたい。
井上議長	大変な貴重なご意見ありがとうございました。当初予定された時間が3時になります。 ここで閉じたいと思いますけどよろしいですか。 その他、事務局からはありますか。
下垣補佐	特にありません。
井上議長	皆さんの方からございますか。 ないようですので、本日より予定していた議事等は全て終了いたしますので、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
原課長	それでは閉会の言葉を芦澤副委員長にお願いします。
芦澤副委員長	いろいろなご意見が多く出てきたかと思います。社会教育員の立場からの意見を集約していただき、実践していってほしい

様 式

芦澤副委員長	<p>と思います。発言するだけだったら何でもできます。社会教育委員から意見をいただき、事務局と相談しながら委員長を中心に進めて行ければと思います。</p> <p>それでは、令和2年度社会教育委員会議を閉会いたします。どうもありがとうございました。</p>
--------	---